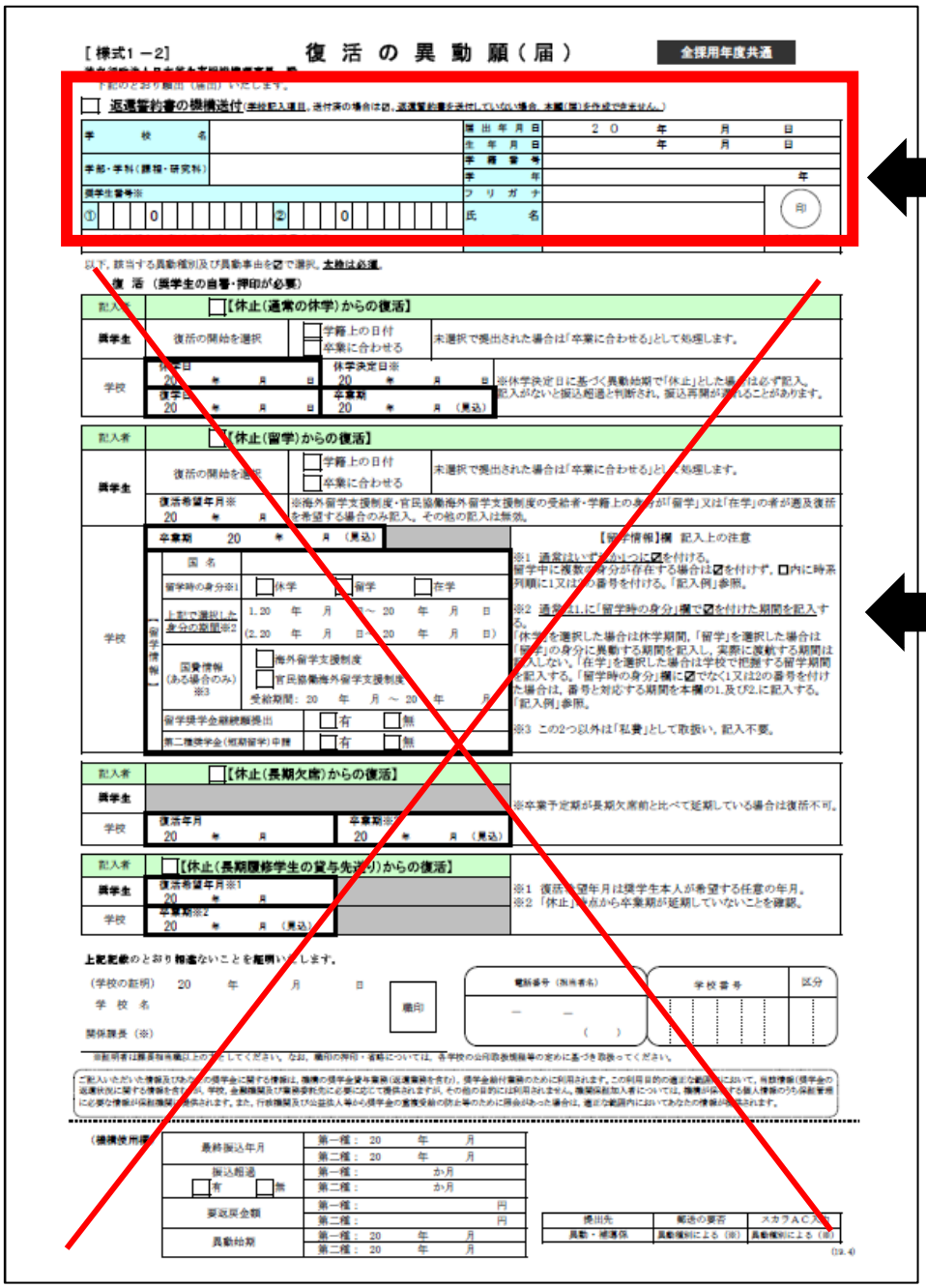
【復活の異動願（届）記入例】



［様式1－2］　復活の異動願（届）　全課用年度共通

下記のとおり提出（届出）いたします。

☐ 返還誓約書の機構送付（手続記入項目。送付済の場合は図、返還誓約書を送付していない場合、本届（届）を作成できません。）

学校名		提出年月日	20　年　月　日
		生年月日	年　月　日
学部・学科（課程・研究科）		学籍番号	
		学年	年
奨学生番号※		フリガナ	
①　0　2　0		氏名	印

以下、該当する異動種別及び異動事由を☑で選択。太枠は必須。

復活（奨学生の自署・押印が必要）

記入者	☐【休止（通常の休学）からの復活】		
奨学生	復活の開始を選択	☐学籍上の日付 ☐卒業に合わせる	未選択で提出された場合は「卒業に合わせる」として処理します。
学校	休学日 20　年　月　日 復学日 20　年　月　日	休学決定日※ 20　年　月　日 卒業期 20　年　月（見込）	※休学決定日に基づく異動始期で「休止」とした場合は必ず記入。記入がないと振込超過と判断され、振込再開が遅れることがあります。

記入者	☐【休止（留学）からの復活】		
奨学生	復活の開始を選択	☐学籍上の日付 ☐卒業に合わせる	未選択で提出された場合は「卒業に合わせる」として処理します。
	復活希望年月※ 20　年　月	※海外留学支援制度・官民協働海外留学支援制度の受給者・学籍上の身分が「留学」又は「在学」の者が遡及復活を希望する場合のみ記入。その他の記入は無効。	
学校	卒業期 20　年　月（見込）		
	【留学情報】	国名	
		留学時の身分※1	☐休学　☐留学　☐在学
		上記で選択した身分の期間※2	1. 20　年　月　日～ 20　年　月　日 （2. 20　年　月　日～ 20　年　月　日）
		国費情報（ある場合のみ）※3	☐海外留学支援制度 ☐官民協働海外留学支援制度 受給期間：20　年　月～ 20　年　月
		留学奨学金継続願提出	☐有　☐無
		第二種奨学金（短期留学）申請	☐有　☐無

【留学情報】欄　記入上の注意

※1　通常はいずれかいつに☑を付ける。
留学中に複数の身分が存在する場合は☑を付けず、☐内に時系列順に1又は2の番号を付ける。「記入例」参照。

※2　通常は1.に「留学時の身分」欄で☑を付けた期間を記入する。
「休学」を選択した場合は休学期間、「留学」を選択した場合は「留学」の身分に異動する期間を記入し、実際に渡航する期間は記入しない。「在学」を選択した場合は学校で把握する留学期間を記入する。「留学時の身分」欄に☑でなく1又は2の番号を付けた場合は、番号と対応する期間を本欄の1.及び2.に記入する。「記入例」参照。

※3　この2つ以外は「私費」として取扱い、記入不要。

記入者	☐【休止（長期欠席）からの復活】	
奨学生		※卒業予定期が長期欠席前と比べて延期している場合は復活不可。
学校	復活年月 20　年　月	卒業期※ 20　年　月（見込）

記入者	☐【休止（長期履修学生の貸与先送り）からの復活】	
奨学生	復活希望年月※1 20　年　月	※1　復活希望年月は奨学生本人が希望する任意の年月。 ※2　「休止」時点から卒業期が延期していないことを確認。
学校	卒業期※2 20　年　月（見込）	

上記記載のとおり相違ないことを証明いたします。

（学校の証明）　20　年　月　日
学校名
関係課長（※）　　職印

電話番号（担当者名）	学校番号	区分
―　― （　）		

※証明者は課長相当以上の方としてください。なお、職印の押印・省略については、各学校の公印取扱規程等の定めに基づき取扱ってください。

ご記入いただいた情報及びその他の奨学金に関する情報は、機構の奨学金貸与業務（返還業務を含む）、奨学金給付業務のために利用されます。この利用目的の適正な範囲において、有効情報（奨学金の返還状況に関する情報を含む）は、学校、金融機関及び業務委託先に必要に応じて提供されますが、その他の目的には利用されません。機関保証加入者については、機関保証に関する個人情報のうち保証管理に必要な情報が保証機関に提供されます。また、行政機関及び公益法人等からの奨学金の重複受給の防止等のために照会があった場合は、適正な範囲内においてあなたの情報が提供されます。

（機構使用欄）

最終振込年月	第一種：20　年　月	
	第二種：20　年　月	
振込超過 ☐有 ☐無	第一種：　か月	
	第二種：　か月	
返還金額	第一種：　円	
	第二種：　円	
異動始期	第一種：20　年　月	
	第二種：20　年　月	

提出先	郵送の要否	スカラAC入力
異動・補塡係	異動種別による（※）	異動種別による（※）

（19.4）

（記入箇所）

赤枠の中を記入してください。
押印も必ずしてください。

記入不要です。